

2022茨城県クラブユースサッカー選手権U-14大会要項

1. 主催 茨城県クラブユースサッカー連盟
2. 主官 茨城県サッカー協会(3種委員会)
3. 期日 ・1次リーグ:9月24日・10月16日・11月3日・11月23日・12月4日(予備日12月18日)
・決勝トーナメント:1月15日・1月21日・1月29日・2月5日(予備日2月12日)
4. 会場 各地グラウンド等
5. 出場チーム数 31チーム
6. 出場資格
 - 1) 財団法人日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なおかつ日本クラブユースサッカー連盟および茨城県クラブユース連盟に2022年度に登録したチームであること。同一チームは1チームの参加とする。
 - 2) 出場選手は、他の中学校サッカー部及び他のクラブチームに二重登録されていないこと。
 - 3) 平成20年(2008年)4月2日以降の出生者を対象とする。
 - 4) 出場する選手は日本サッカー協会発行の選手証若しくは電子登録証一覧表(写真が登録されたもの)が確認できるコピーを試合開始前に提示するものとする。選手証若しくは電子登録証一覧表に写真を貼っていない場合は出場を認めない。

茨城県クラブユースサッカー選手権U-14大会競技規則

[競技方法]

1. 1次リーグはリーグ戦とし、決勝トーナメントはノックアウト方式とする。
2. ルールは現行の日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
3. 試合時間は、70分とする(インターバル10分)

・1次リーグ (A~F組 6組リーグ)

リーグ戦の順位決定方法は、勝ち3点、引き分け1点、負け0点の勝ち点により、勝ち点の多い順に決定する。但し、勝ち点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。

- ① 当該チーム同士の対戦成績
- ② 全試合のゴールディファレンス(総得点-総失点)
- ③ 全試合の総得点
- ④ 上記の①~④の全項目において同一の場合は、抽選により決定する。

各組上位2チームと3位の上位4チームが決勝トーナメントに進出する。

但し、3位チームの順位を決定する場合、6チーム組は、最下位のチームとの勝点・得失点差をカウントしない。

・不戦勝・不戦敗の結果について

不戦勝・不戦敗の場合は、リーグ終了後にそのリーグの最大得点差とする。

試合が中断(落雷等)し、その後、中止となった場合、開始後60分を過ぎていた場合はそれまでの結果を採用する。試合開始後60分に満たなかった場合は再試合とする。

試合開始後に6名以下になった場合、試合を中断し、相手チームの不戦勝とします。

期限までに、何らかの理由で試合が出来ず棄権した場合は都合をつけられなかったチームの不戦敗とする。

・決勝トーナメント (16チーム) 1次リーグ終了後抽選

競技時間内に勝敗の決まらない場合、延長戦は行わずPK戦により勝敗を決定する。

決勝トーナメントの上位チームに次年度のU15クラブユース大会のシード権を与える。
クラブユース大会のシード権については関東リーグへの昇格・降格について変更となる。
関東クラブリーグへ昇格したチームは決勝トーナメントには参加しない。その場合に、決勝トーナメントチームを予選リーグの結果により繰り上げる。

・交流戦 15チーム(予定) 1次リーグ終了後抽選
決勝トーナメントに進めなかったチームで順位別の交流戦を実施する。

※選手登録は試合の30分前までに行い、所定のメンバー用紙の先発 11 名に○を付けて本部に2部提出する。選手証不所持の場合、その試合に出場できない。

4. 本大会は、試合毎の登録は交代選手を含め25名登録とし(メンバー表に25名の番号を記入する)うち交代は7名までとする。出場する選手は本部でチェックを受けて交代する。(再出場は認めない)なお、試合毎の登録から試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが当該試合へ出場することが不可能であると当該会場責任者が判断した場合のみ、エントリー内容を変更することができる。
5. 交代の手続きは、サッカー競技規則第3条に則って行う。(但し交代用紙は使用せず、登録用紙により確認をする)
6. 選手は異なるチームへ移籍後、再び同一大会に参加することはできない。
7. 大会期間中、警告を2回受けた者は、次の同大会1試合に出場できない。退場を命じられた者は、少なくとも次の同大会1試合に出場できない。但し、違反行為の内容によってはそれ以降の処置を大会実施委員長と規律委員長の協議によって決定する。(決定事項によっては、県内公式戦に影響する場合がある)なお、予選リーグで警告1枚の場合は、決勝トーナメントには持ち越さないが、予選リーグ最終節に警告を受け累積2枚となった場合、もしくは最終節に退場となった場合は、次の決勝トーナメントの試合に出場できない。
8. 試合開始時刻に指導者、及び選手7名以上が揃っていないチームは不戦敗となり、相手チームの勝ちとする。但し、天災や、不慮の事故等の理由による場合は、大会実施委員長と当該会場責任者において協議し、適切な処置を行なう。また、参加資格、不都合な行為があった場合の処置については、大会実施委員長と規律委員長の協議によって決定する。
9. ユニフォームは正の他に副として、正と異なるユニフォームを必ず携行すること。GKも同様とする。アンダーシャツ、アンダーショーツ、タイツの色は問わない。ただしチーム内で同色のものを着用する。ソックスにテープまたはその他の材質の物を貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。ユニフォームの決定は主審が両チームの立ち合いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。また、主審は両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ、ソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。ゴールキーパーが試合中に何らかの理由で試合が続行できなく控えのゴールキーパーもいない場合、フィールドプレーヤーがゴールキーパーをする際、フィールドプレーヤーが両チームのフィールドプレーヤーと容易に識別できる色のビブス着用での対応を可とする。※ビブスの番号は問わない。ただし、ゴールキーパーがフィールドプレーヤーとして出場するときは、フィールドプレーヤーのユニフォームを着用すること。

10. 選手及び役員のチームベンチの入場は、試合毎登録選手25名・スタッフ5名の30名を上限とする。
11. ベンチに入る選手は、ユニフォームと異なる色のビブス等を着用する。
12. 試合球は各チーム持ち寄りとする。
13. 負傷者については、各チームの責任において処置する。但し救急を要する場合を想定し、会場責任者は事前に病院等の場所を確認しておく事。
14. 試合会場では、会場責任者が試合中におけるベンチ役員及び応援の父兄等に対して、審判への抗議や行き過ぎる声援等があった場合は、積極的に注意・指導する。またサッカー関係者としてのマナーを十分心がける。
15. 会場責任者は試合結果を当日中に事務局まで結果報告書をLINEまたはメールし、事務局から広報へ結果報告する。
16. 審判は、1次リーグは自主運営とし、参加チームで審判を相互で出し合いながらの運営を基本とする。決勝トーナメントから主審を審判委員会へ派遣を依頼して実施する。但し、審判委員会から派遣出来ない場合は相互で出し合いながら運営する。
17. 新型コロナウイルス感染症対策について。
 - ・茨城県サッカー協会「県内サッカー活動再開に向けたガイドライン」に沿った活動を原則とする。
 - ・各会場の利用ルールに従うこと。各会場の責任者が、利用のルールがある場合には事前に参加クラブにLINE等で注意事項を送信する。
 - ・客席がある会場については、選手と観戦者の動線を分ける。
 - ・観客席のない会場については、サッカー場の敷地内に観戦者は進入せず、防球ネット等の外側から観戦する。
 - ・観戦者については、ソーシャルディスタンスを保つこと、声を出しての声援は避けることなど、各チームから事前に保護者へのアナウンスをする。(観戦者がソーシャルディスタンスを保てない場合には、必ずマスクを着用する。)
 - ・選手及びチームスタッフの体調管理については、毎日の検温(2週間前より)、毎日の体調チェックを行い、各チーム責任者が管理を行う。体調不良がある場合には、無理して試合に参加させない。
 - ・万が一、チーム関係者でコロナウイルス感染者が出た場合には、大会事務局に連絡し、濃厚接触者以外で実施可能であれば実施し、調整出来ない場合は延期または不戦敗とする。
 - ・試合前後のセレモニーでは、握手は行わない。

[大会登録・参加費]

1. 参加チームは、所定のメンバー表兼登録用紙に必要事項を記入し、試合毎に提出する。
2. 参加費については、会場毎徴収とし、金額は会場責任者が決定し徴収する。

[大会実施委員長] 岩崎勇二(FC古河)

[大会事務局] 山本康樹(アウルFC取手)

TEL 0297-73-7786 FAX 0297-73-7658 owlfc2006@yahoo.co.jp